

研究課題の名称

呼吸器疾患患者における Presenteeism(能力低下による損失)と Absenteeism(欠動による損失) の関係 呼吸リハビリテーション介入の前後比較

研究の目的及び意義

本邦は「健康寿命延伸」といった成長戦略のもと、両立支援といった動労者の高齢化と疾病を抱えながら人が増える予測に対しての取り組みが進んでいます。そこで Industriail Health にて就労に影響している症状として「COPD」が上位項目であることに注目し、呼吸リハビリテーション介入で、どの程度の動労況や経済効果があるのかを検討することを目的とします。

研究対象者の選定方針

当院外来リハビリテーションに通院し、就労している呼吸器疾患患者

研究予定期間

承認日（西暦 2018 年 12 月 21 日）から西暦 2025 年 3 月 31 日